

中国 民衆法廷への陳述書

氏名—キム・ヒョンチョル

2017年10月20日、天津第一中央病院の1階にあるロビーで韓国系中国人看護婦と会いました。看護婦は、我々をVIPのための10階に案内しました。特に権限の与えられた人が用いるセキュリティーのカード（複数）を使ってドアを開け、10階の通路の一番奥にある部屋で腎移植医を紹介してくれました。この病院で移植を受けられるか確認するため、患者の代行で我々が韓国から持参した書類を、彼女は医師に見せました。我々は医師に手術が可能であるか、待ち時間、待ち時間を縮める方法を尋ねました。看護婦は、移植は可能であり、平均の待機時間は最低2週間から最高3ヶ月で、病院に寄付することで待機時間は短縮されると言いました。また、肝移植を受け、回復のために入院している韓国人の患者と、腎移植と膵臓移植を同時に受けるために待機している韓国人患者がいると言いました。多くの患者が国外から移植に来るということでした。さらに術前と術後のケアの期間のために患者と家族のために用意された、通りの向かいにあるホテルを、病院の窓から指差しました。移植待機中の中東からの患者と家族が滞在する部屋に入らせてくれ、現在、多くの患者が中東から来ていると語りました。

2017年10月21日、看護婦が示してくれたホテル内の一室で、移植を待つ韓国人の患者と妻に会いました。看護婦が我々を紹介してくれました。夫が腎臓と膵臓の移植を同時に受ける必要があるから、韓国から来たと言っていました。

2017年10月23日、肝移植を受け、回復中の患者と息子に会いました。病院に着いてから2ヶ月後に移植することができたと言っていました。

韓国で移植待機者リストに載っていて、天津病院での移植の可能性を希望する患者の実際の書類（血液検査、CTなどに関するカルテと医師の紹介状）を、我々ドキュメンタリー制作チームが手にすることができたので、中国での移植に関する手続きを全て通過し、このドキュメンタリーが制作できたのだと思われます。